

「認知症でもだいじょうぶ」町づくりキャンペーン2009
報 告 書

2010年（平成22年）3月

認知症介護研究・研修センター（東京・大府・仙台）
住友生命保険相互会社

「認知症でもだいじょうぶ」町づくりキャンペーン2009
報 告 書

2010年（平成22年）3月

認知症介護研究・研修センター（東京・大府・仙台）
住友生命保険相互会社

ごあいさつ

認知症になっても、自分らしく生きることができる～これを伝え、またこれが実践されることを支援すべく地域の力を見直そうと全国へ呼びかけがなされたのは、2004年秋の「国際アルツハイマー病協会第20回国際会議・京都・2004」でした。ここで開催した「認知症でもだいじょうぶ」町づくりキャンペーンの前身にあたる発表会を第1回として、本キャンペーンは今年で6回目を迎えました。

本キャンペーンには、今年も全国各地から55に及ぶ応募をいただき、これまでと合わせると346におよぶ取組みが寄せられました。全国各地で町づくりが着実に広がっています。認知症の本人が主となって力を発揮される取組みも例年以上に増え、認知症の本人も、そうではない人も、ある時は支え、ある時は支えられて、地域でともに暮らしていくということが広がっていると感じました。これまでのキャンペーンを含めると、すべての都道府県から応募をいただき、全国的な広がりをみせています。

昨年11月に一次推薦委員会、同12月に地域活動推薦委員会（最終推薦委員会）が開催され、白熱した議論を経て、今後の町づくりモデルとなる7つの活動が「町づくり2009モデル」に決定しました。本日の発表会にて報告されます。

2009モデルをはじめとして、いただいた応募は一つひとつがいずれ劣らぬ熱心な活動であり、それぞれの地域、環境にあわせた工夫や経験にあふれています。報告書やホームページなどですべての活動をご覧いただけます。また、これまでに受賞された方々のその後の活動についても、ホームページで掲載を始めています。各地でのこうした積み重ねを参考にし、自分たちの地域での取組みに活かしていただきたいと思います。私たちがよりいっそう町づくりの情報拠点として尽力してまいります。

町づくりキャンペーンを通して、地域の認知症に対する意識や認識が向上することによって、早期発見、早期治療へと結びつき、さらには認知症の本人や家族の生活の質を改善・維持にもつながります。ぜひ、認知症の本人の尊厳を支え、ともに暮らしていく町づくりの活動をともにすすめてまいりましょう。

「認知症でもだいじょうぶ」町づくりキャンペーン2009

実行委員長 本間 昭

報告書の刊行にあたって

『認知症でもだいじょうぶ』町づくりキャンペーン2009」では、2009年6月より全国で認知症の人を地域で支える活動を展開している活動事例の募集を開始し、応募のあった55事例を慎重に検討して、2009年12月に「町づくり2009モデル」を決定しました。

そして2010年3月に「認知症を知り 地域をつくる」キャンペーン報告会の場において、表彰式と「町づくり2009モデル」団体による地域活動の発表を行いました。

本キャンペーンは、厚生労働省と認知症にかかわる各団体による国民的な「認知症を知り 地域をつくる」キャンペーンの一環として行ったものです。

各活動報告の本報告書への収録にあたっては、活動している団体および個人の表現のスタイルを尊重し、原則として原稿に改変を加えることは行っていません。このため、表記に不統一の部分があります。

『認知症でもだいじょうぶ』町づくりキャンペーン2009」は、厚生労働省老人保健健康増進等事業の補助金および住友生命保険相互会社のご支援をいただいて運営が行われました。あらためて感謝申し上げます。

本報告書が、全国各地で認知症の人とそのご家族を支える活動を続けておられる皆様のお役に立つように願っています。

2010年3月

「認知症でもだいじょうぶ」町づくりキャンペーン2009 事務局

目 次

I. 「認知症でもだいじょうぶ」町づくりキャンペーン2009総括

1. 「認知症でもだいじょうぶ」町づくりキャンペーン実行委員長から経過報告(発表会より) 3
2. 「認知症でもだいじょうぶ」町づくりキャンペーン地域活動推薦委員長から総括(発表会より) 4
3. 全応募者への応援メッセージ 6

II. 「認知症でもだいじょうぶ」町づくりキャンペーン2009へ全国から寄せられた活動一覧

1. 全国から寄せられた地域活動 応募一覧 13
2. 各地域報告の情報データベース(町づくりキャンペーンホームページ)の紹介 16
3. 「町づくり2009モデル」一覧 17
4. 「町づくり2009モデル」
活動報告(1) 「誰でもが安心して暮らせる街に～小樽市高齢者懇談会『杜のつどい』の市民後見人活動～」 18
小樽市高齢者懇談会「杜のつどい」(北海道小樽市)
- 活動報告(2) 「地域と共に生き活きと暮らす～認知症発症者が主になり運営する朝市・地域食堂～」 32
社会福祉法人 守里会 デイサービスセンター侶(香川県高松市)
- 活動報告(3) 「『認知症買い物セーフティーネット』普及事業
～認知症になっても安心して買い物ができる地域づくり～」 45
NPO法人 HEART TO HEART(愛知県東海市)
- 活動報告(4) 「ネットワーク形式(杉並方式)で『介護者の会』を運営する試み
～介護者の心に寄り添える『介護者の会』を目指して～」 57
NPO法人 杉並介護者応援団(東京都杉並区)
- 活動報告(5) 「共生を軸とした認知症地域支援の取り組み
～支えられる存在から支え合う力を生み出す存在へ～」 70
NPO法人 地域の寄り合い所 また明日(東京都小金井市)
- 活動報告(6) 「熊本県における行政・関係団体・県民が一体となった認知症でもだいじょうぶなまちづくり」 83
熊本県健康福祉部 高齢者支援総室 認知症対策・地域ケア推進室(熊本県)
- 活動報告(7) 「認知症を受け入れるということ～若年性認知症を抱える夫妻と支援者との出会い～」 93
富士宮市サポートチーム/佐野 光孝・明美(静岡県富士宮市)
5. 各地域活動概要 109

III. 資料編

1. 実施要領 159
 2. 推薦基準 163
 3. 発表会について 164
- 附: 活動経過 166